

製品名: TRAF3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87619**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:64 kDa; Observed MW:64 kDa

抗原情報

遺伝子名	TRAF3
別名	CAP1; LAP1; CAP-1; CRAF1; IIAE5; CD40bp; RNF118
遺伝子 ID	7187
SwissProt ID	Q13114
免疫原	ヒト TRAF3 の合成ペプチド

背景

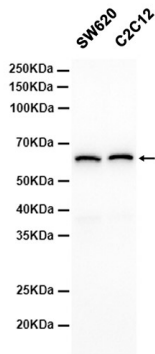
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体関連因子 (TRAF) タンパク質ファミリーのメンバーです。TRAF タンパ

ク質は、TNF 受容体 (TNFR) スーパーファミリーのメンバーと関連し、シグナル伝達を媒介します。このタンパク質は、免疫応答の活性化に重要な TNFR ファミリーメンバーである CD40 のシグナル伝達に関与しています。このタンパク質は、リンホトキシン β 受容体 (LTbetaR) シグナル伝達複体の重要な構成要素であることが判明しており、この複合体は、LTbeta ライゲーションによって開始される NF- κ B 活性化と細胞死を誘導します。エプスタイン・バーウイルスによってコードされる潜伏感染膜タンパク質 1 (LMP1) は、これや TRAF ファミリーの他のいくつかのメンバーと相互作用することができ、それが LMP1 の腫瘍形成作用に不可欠である可能性があります。このタンパク質は、抗ウイルス応答の調節にも役割を果たしています。この遺伝子の変異は、急性感染誘発性ヘルペス特異的脳症 5 と関連している。[RefSeq 提供、2020 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



TRAF3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、SW620 細胞および C2C12 組織からの抽出物をウェスタンブロット分析しました。